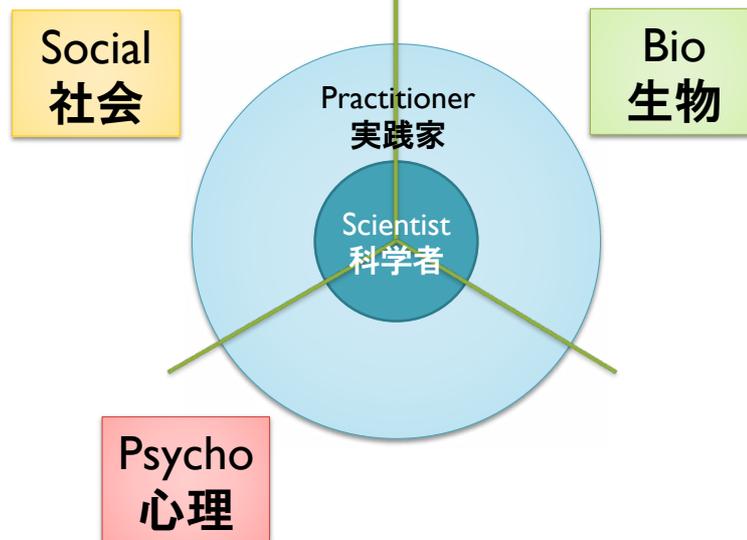


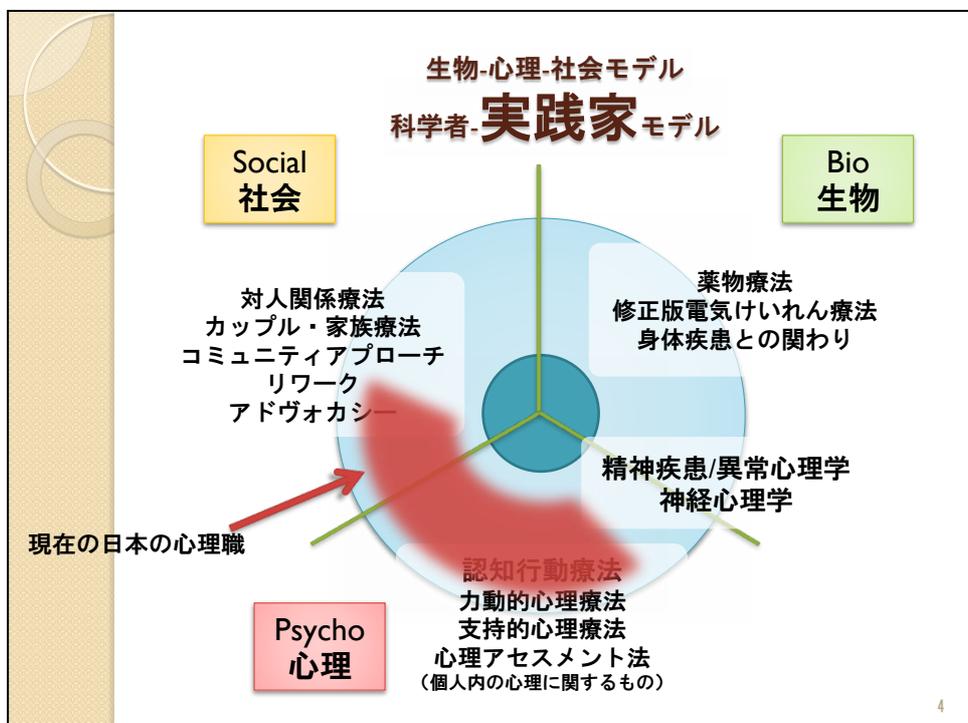
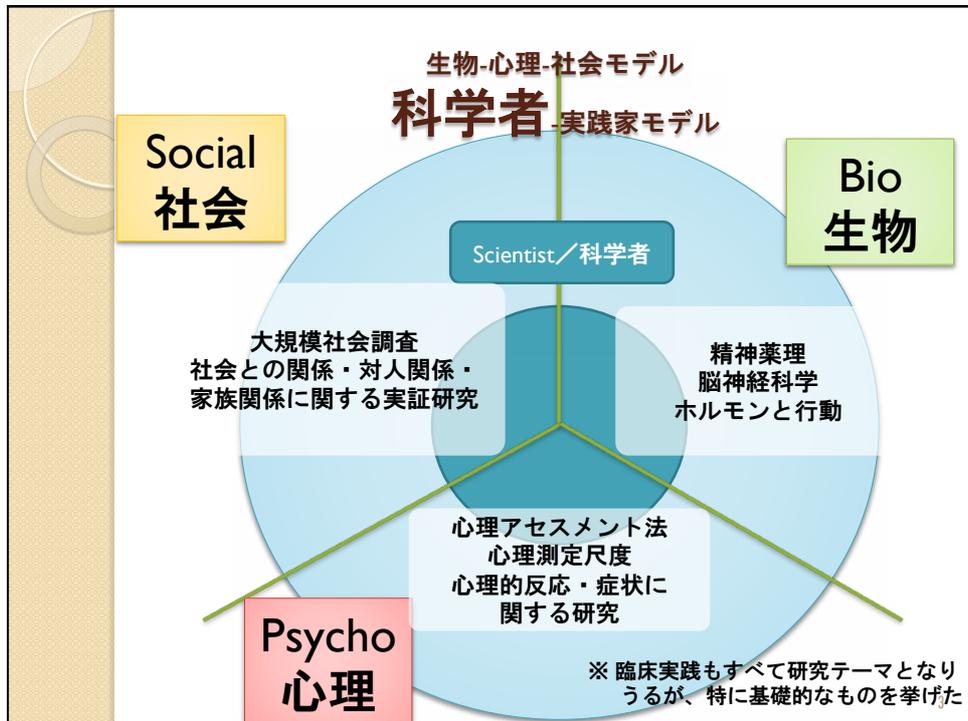
2013年8月28日 日本心理臨床学会@パシフィコ横浜（東京大学）
心理職の教育訓練カリキュラムに関して日本心理研修センターとの対話

4)生物-心理-社会モデルに 基づくカリキュラム案

東京大学大学院
臨床心理学コース
石丸径一郎

生物-心理-社会モデル 科学者-実践家モデル





望まれるカリキュラム

- 現状
 - 個人心理療法実践を得意とする心理職が多い
- 理想
 - 生物・心理・社会／研究・実践に幅広く強い心理職
 - スクール・カウンセラー等のニーズ
(Social方面を強化：人間関係・コミュニティ)
 - 病院・障害者施設などの職域
(Bio方面を強化：薬物副作用、身体疾患、
神経心理アセスメント、認知リハビリテーション)
 - 国民や行政へのPR・普及啓発
(Scientist方面を強化：信頼獲得、利用の敷居を下げる、
保険点数化)
- これで十分か？
 - 生物心理社会・科学者実践家モデルを中心とするが、カリキュラムとしてはプラスアルファを

5

臨床心理実践の実際問題

- 事例1
 - 認知行動療法を振りかざす若い心理職？
 - “CBTをやる”ことに目が向きすぎる
全体を見わたす余裕がなく
尚早に何らかの技法を繰り出そうとする
 - 動機付けや信頼関係は十分か？
- 事例2
 - 「私は箱庭はやりたくありません」と言う学生
 - エビデンスがないので...
 - ※本学の心理教育相談室には、たくさんの箱庭と非常に充実した大量のパーツがあります
 - 悩みについて話すのがつらいが、しゃべらずに箱庭ならできるというCI

6

臨床心理実践の実際問題

● 事例3

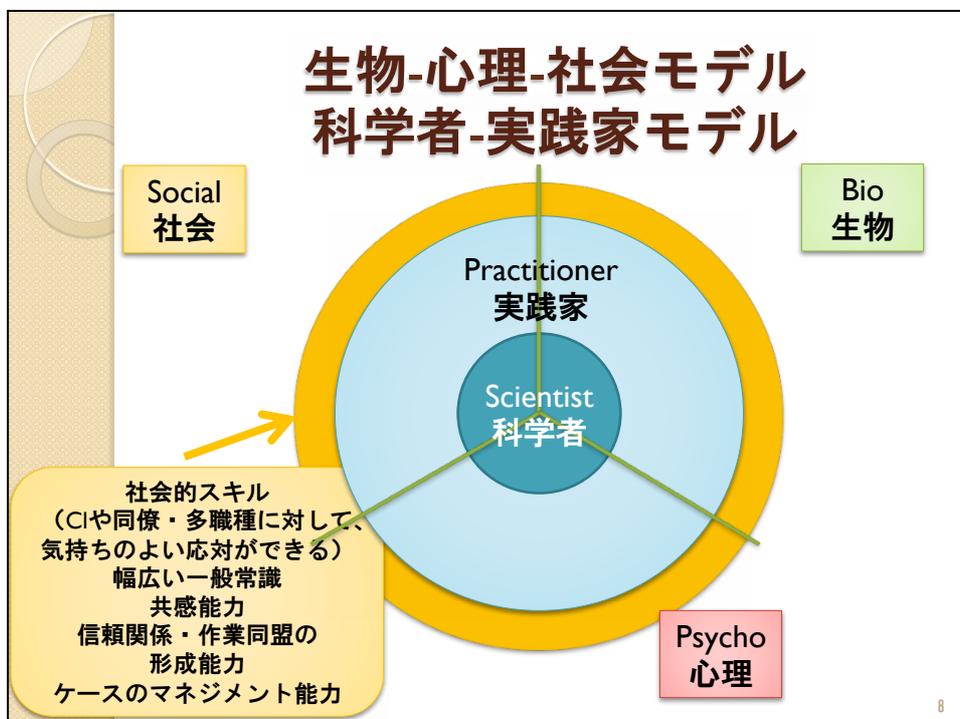
- うつ症状で来院した50代女性
 - ストーマなんです、みんなの前で失敗して〈ストーマ?〉人工肛門です〈みんなの前で失敗とは具体的には?〉

● 事例4

- PTSDのエクスポージャー療法
 - プログラム説明中にCIが過呼吸発作
 - Thは止められず、SVorがあわてて対応に来る
 - PTSDに最も強い効果があり、詳細なマニュアルがあるが、実施するためには心理職としての基本技能が必要
 - ラポール形成、CIを安心させる、不安が高まった時の対応

7

生物-心理-社会モデル 科学者-実践家モデル



心理職として必要な知識技能

- 科学者-実践家モデル
 - 臨床能力と研究・論文作成能力
- 生物-心理-社会モデル
 - 人間を相手にする専門職として、人間にとって重要な3領域に関する、基礎から実践に至るまでのひと通りの知識
- 心理職としてのその他の基本技能
専門職教育？
 - 共感、信頼形成、安心させる、一般常識
 - ケースやシステムのマネジメント

9

カリキュラム案

- 学部教育（2～4年間）
- 修士課程（2年間）
- 修士修了後
 - 博士課程 科学者・指導者養成
 - リカレント教育 実践家向け

10

カリキュラム案（学部教育）

	生物	心理	社会
科学者	身体科学概論	臨床心理学 異常心理学 心理学概論 量的研究法 質的研究法 卒業論文	社会科学 隣接諸分野
実践家		心理検査実習	施設見学
その他	一般常識？		

- 講義や視聴覚教材による最新知見を知る
- 本格的な実践はできないが見学・実習を入れる

11

カリキュラム案（修士課程）

	生物	心理	社会
科学者	脳神経科学	心理測定法 心理学研究法 修士論文	
実践家	精神薬理 身体疾患・障害	心理アセスメント 基本的なCBT等 の個人心理療法 プレイセラピー	援助機関・組織 での実習 関連法制度・倫理
その他	共感面接のロールプレイ、ケースマネジメント、 陪席、専門職アイデンティティ形成、個別SV		

- 本格的な実習を通して、習得した知識を実践に即した形で再体制化する
- 現状でもカリキュラムが時間的に飽和状態にあるため、バランスの良い取舍選択が必要

12

カリキュラム案（博士課程）

	生物	心理	社会
科学者	脳神経科学 精神薬理 ホルモンと行動 睡眠 性行動	心理測定法 効果研究 博士論文	
実践家		CBTやその他の 心理療法の 改良・開発	大学外の機関で の臨床職の非常 勤勤務
その他	システム・組織に心理職を位置づけるための オーガナイズに参画、個別SV		

- リーダーとなる研究者養成のため、科学者の方に重点を置いたカリキュラム
- 既存の知識を吸収するだけでなく、現状の改良、新しいものの開発を行う

13

カリキュラム案（リカレント）

	生物	心理	社会
科学者	研究論文の読み方、研究チームの一員として参画する		
実践家	精神薬理 身体疾患・障害	疾患・問題別の CBT 対人関係療法 力動的心理学療法 家族療法	多職種協働
その他	心理職のストレスマネジメント		

- 臨床能力の向上を主な目的として、幅広い知識技能の修得を目指す
- 心理職として健康に働き続けるための教育も入れる

14